

水道情報活用システム標準仕様研究会 と活動状況のご紹介

2022年2月

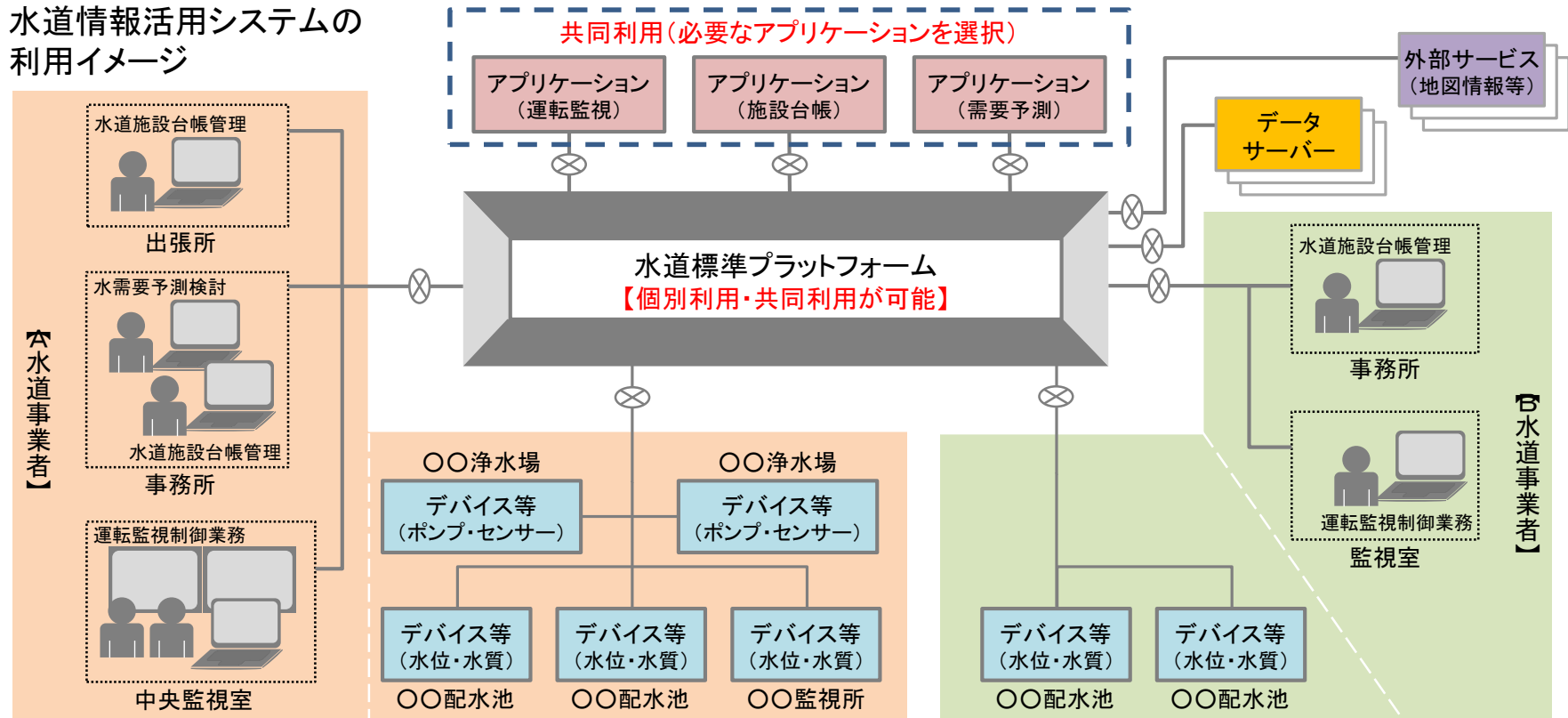
水道情報活用システム標準仕様研究会 事務局

1. 水道情報活用システムの概要
2. 水道情報活用システムの標準仕様とは
3. 水道情報活用システム標準仕様研究会とは
4. 研究会の各会議体の役割について
5. 研究会の今年度活動計画
6. 研究会活動のご紹介①～⑤
7. 会員募集について

1. 水道情報活用システムの概要

- ✓水道事業は、人口減少等による水需要の減少や水道料金収入の減少、管路等の水道施設の老朽化、職員の減少等多くの課題に直面しております。
- ✓このような課題に対応し、厚生労働省と経済産業省が平成26年度より連携し、CPS/IoTによる先端技術の活用による解決方法として「水道情報活用システム」の検討を進めてきた。
- ✓「水道情報活用システム」とは、「データ流通のルール」が標準化され、セキュリティが担保されたクラウドを活用したシステムであり、水道事業者等は、システム更新や増設にあたって、さまざまなベンダから選択が行えるというメリット等が得られる。

水道情報活用システムの利用イメージ



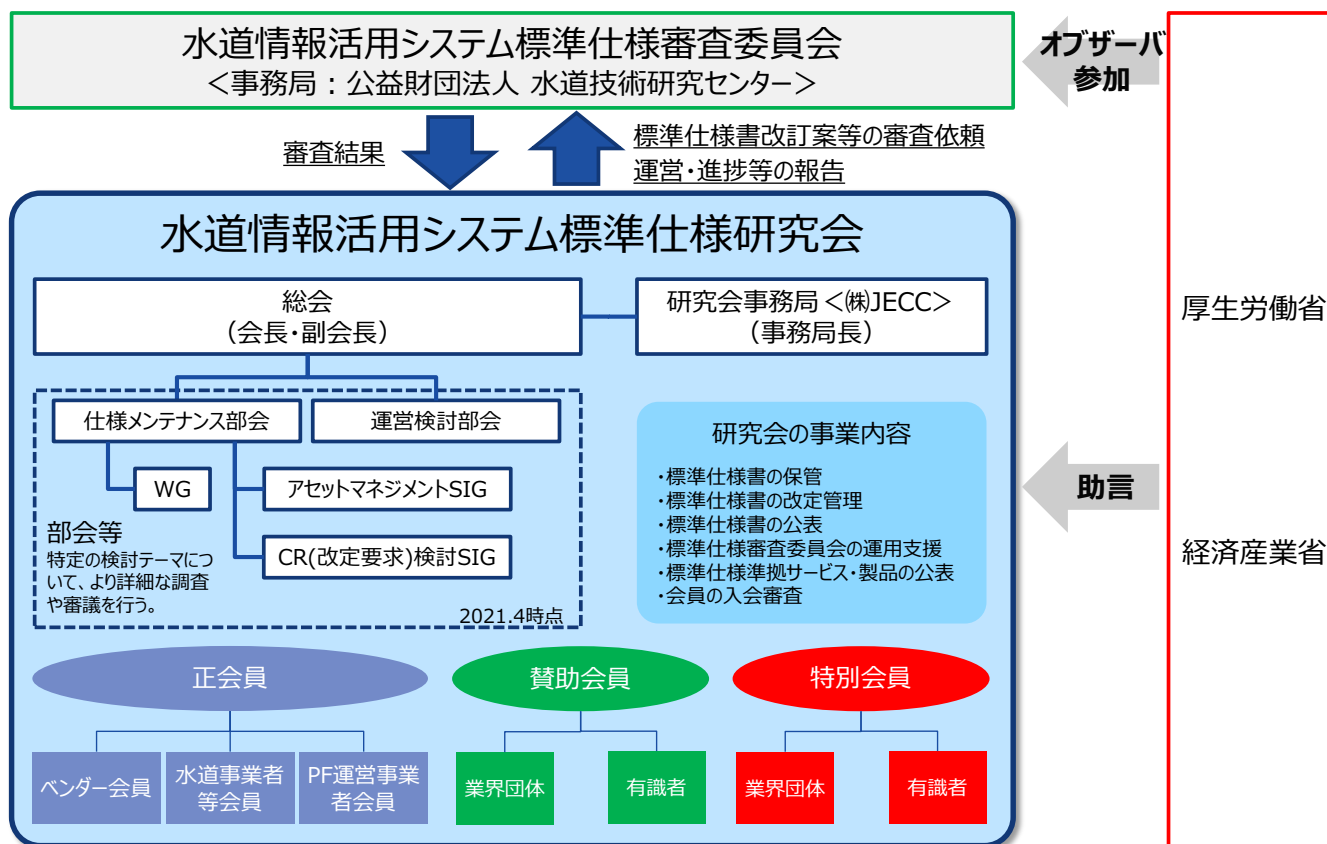
2. 水道情報活用システムの標準仕様とは

- ✓ 水道情報活用システムの標準仕様とは、これからの水道事業におけるデータ流通の共通ルール等を定めたもので、厚生労働省と経済産業省、NEDOの連携により2019年4月に作成されました。
- ✓ 標準仕様は、日々進化する技術や情報利活用の高度化にあわせて継続的に改定などを行う必要があり、これを担う組織として審査委員会と本研究会が設置されることとなりました。

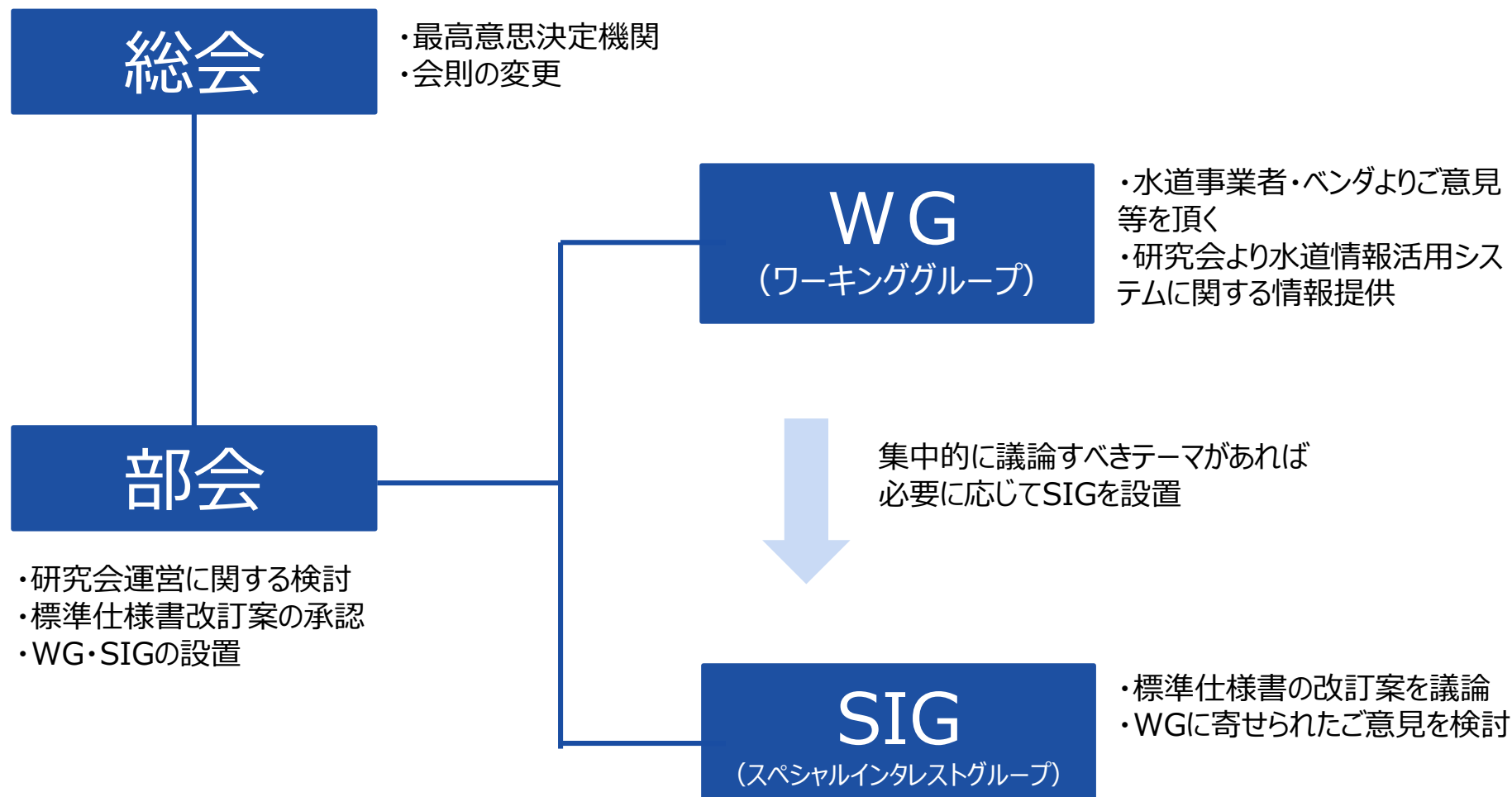


<https://www.j-wpf.jp/stdspec/>

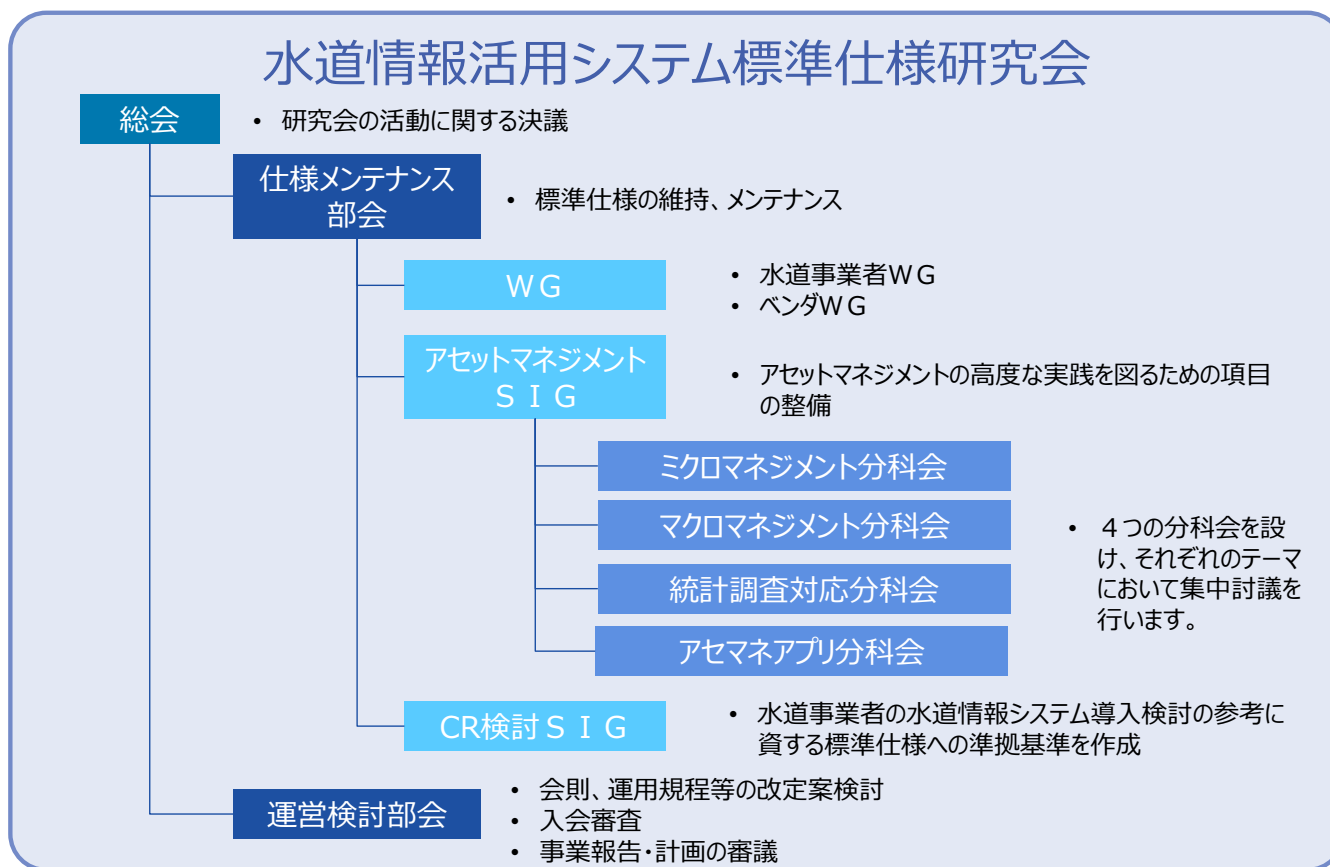
- ✓ 水道事業の基盤強化を図ることを目的として、水道情報活用システムの利活用促進、並びに、その基盤となる水道情報活用システムの標準仕様の管理及び開発を行う場として設立されました。（2020年8月4日設立）
- ✓ （公財）水道技術研究センター様に設置された「水道情報活用システム標準仕様審査委員会」と連携し、標準仕様を管理してまいります。



- ✓ 研究会に設置される各会議体と各会議体の主な役割は以下のとおりです。
- ✓ WGは年数回を開催予定、SIGは議論すべきテーマにより必要に応じて随時設置されます。水道事業者とベンダのニーズマッチングの場にも活用可能と考えます。



- ✓ 2021年度は、検討テーマ毎に以下の会議体を設け、検討・審議を行ってまいります。
- ✓ 標準仕様の改定は、SIG等で作成される改訂案が、部会承認を経て、審査委員会に提出されることとなります。
- ✓ SIGは、下記以外でも研究会員からの意見等から、必要に応じて順次設置されます。



※SIGについては、提出された改定要求書（CR）により、必要に応じて設置されます。

- ✓ アセットマネジメントSIGの活動として、研究会会員の水道事業者様より、施設台帳情報をご提供頂き、重複などを整理し集約を行い、研究会HPへ公開しました。
- ✓ 水道事業者様からは各事業者が「項目の雛形」として利用することでデータの流通性(利活用)が担保されるとのご意見もあり、引き続き議論を重ねていく予定です。

水道情報活用システム標準仕様研究会
Water supply standard platform specification committee

ホーム トピックス 会員専用ページ 標準仕様書(最新版)の公表 入会のご案内 会員一覧 研究会について お問い合わせ

水道施設台帳の整備項目案を公開しました

水道情報活用システム標準仕様研究会(会長:新 誠一)、以下「研究会」といいます。は、水道事業者様とベンダ様の知見を集約し、アセットマネジメントの高度な実践を図ることを目的にアセットマネジメントSIG※を開催しております。

この度、アセットマネジメントSIGでは、各水道事業者様から保有する台帳項目を提供いただき、ご協力いただいた水道事業者様が現在管理している項目ならびに水道情報活用システムの基礎データ項目を踏まえ、水道施設台帳のデータ項目案を整理いたしました。

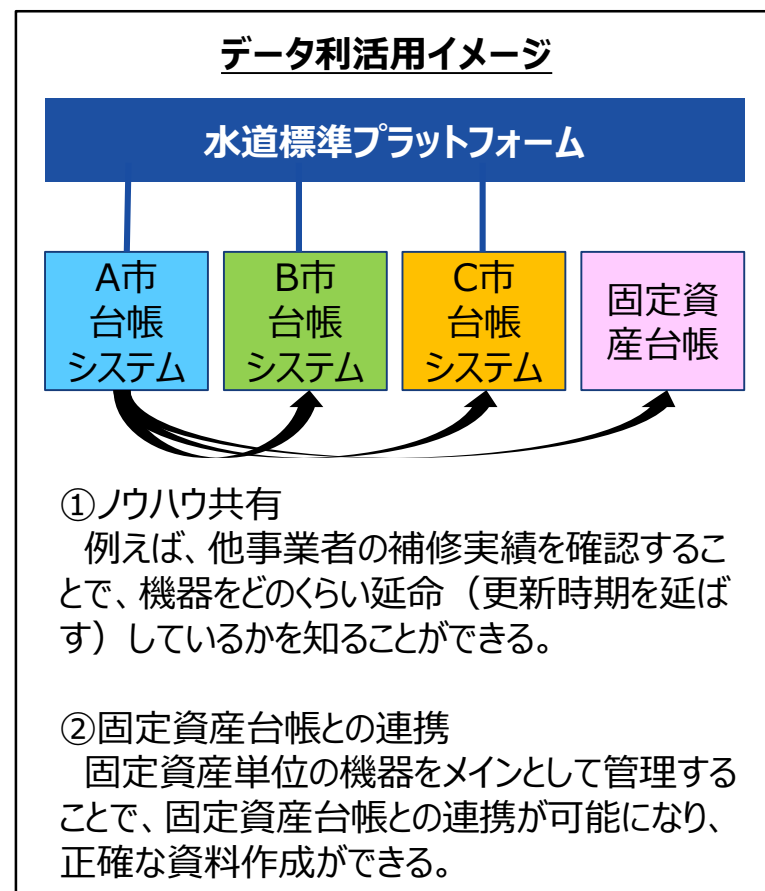
研究会会員以外の水道事業者様等からもご意見を広く募ることで、より良い内容へ改訂を希望しているとの協力水道事業者様からのご意向もあり、一般公開させていただく運びとなりました。

ご意見は事務局宛(wssp-sc@jecc.com)にご連絡をお願いいたします。
いただいたご意見は、研究会内で検討し、施設台帳項目案に反映いたします。

公開資料: 資料①施設台帳整備項目案(Ed.1.1) (EXCEL: 286KB)
資料②機器種別 法定耐用年数案(Ed.1.1) (EXCEL: 51KB)
資料③給水人口別 属性項目テンプレート案(Ed.1.1) (EXCEL: 239KB)
資料④階層・種別・属性(項目)整備案の概要説明(Ed.1.1) (PDF: 728KB)

※アセットマネジメントSIGについて
給水人口の規模、経営視点、水道用視点など、水道事業者様の状況や担当者の立場によって求めているアセットマネジメントが多岐に渡ることが、水道事業者様へのヒアリングの結果確認されたことから、以下の4テーマの分科会を設定して議論を進めております。

1. ミクロマネジメント分科会
2. マクロマネジメント分科会
3. 統計分科会
4. アセットマネジメントアプリケーション分科会



掲載場所: <https://www.j-wpf.jp/>

- ✓ 監視制御システムにて利用される、標準汎用インターフェイスの対応プロトコルとして OPC UA に加え、Modbus/TCP追加が行われました。
- ✓ これにより、水道事業者様の導入時の計装コストの低減が期待されております。

令和2年度 水道情報活用システム標準仕様の改定

【現状・課題】

- 既存設備が更新期を迎えるまでの暫定的な接続の運用として「標準汎用IF※」を定義し対応
- 監視制御等における導入障壁を極力下げするための標準汎用IFに関する検討が必要

※インターフェースの略

対象プロトコルの拡張 (Modbus/TCPの追加※)

※セキュリティ確保の観点から
監視利用のみ可
(制御利用は不可)

【効果】

- 既存設備での接続が可能となる通信プロトコルが拡張されることにより、システム導入時の計装コストの低減が期待される

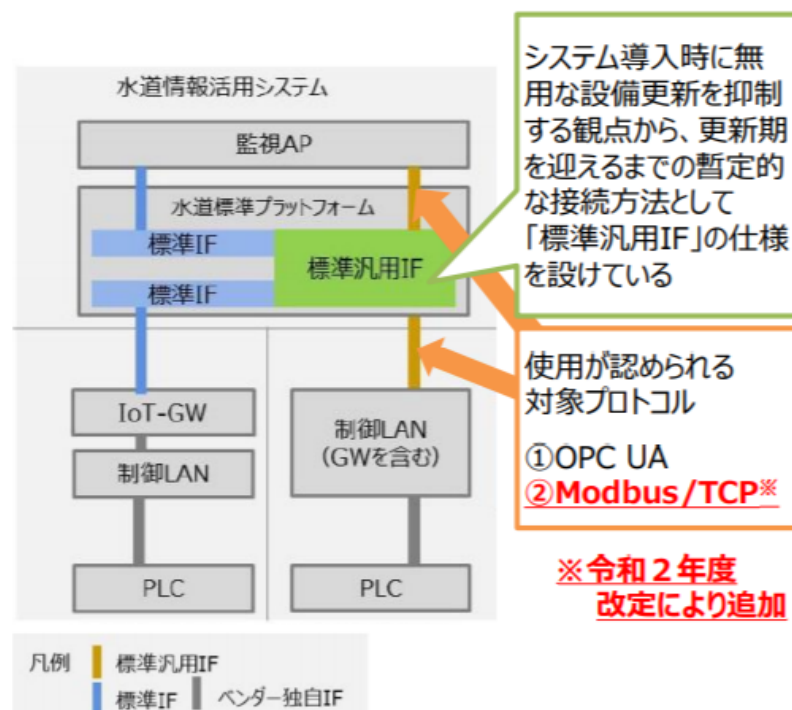


図 標準汎用IFのイメージとR2改定内容

出典) 令和2年度全国水道関係担当者会議 (厚生労働省)

- ✓ 研究会会員のベンダ様より、水道情報活用システムで利用できるサービス・製品の情報提供を頂き、一覧として取りまとめ、研究会HPへ公開しております。
- ✓ 公開している情報は**33ベンダ76サービス・製品**（2021年10月時点）となりますので、ご導入検討等の参考として頂けましたら幸いです。

水道情報活用システムで利用できるアプリケーションサービス・製品

水道情報活用システムでの利用できる会員企業のアプリケーションサービスおよび製品の一覧です。（2021年8月27日現在）

本情報は導入検討にあたっての参考情報であり、実際の利用にあたり、開発等、一定の調整期間を要する場合がありますので、詳細は各企業のお問い合わせ先にご相談ください。

1. アプリケーションサービス

※アプリケーション名の略称は以下のとおりです。

施設…施設台帳

マッピ…マッピングシステム

アセ…アセットマネジメント

水道…水道料金

財務…財務会計

需要…需要予測

管網…管網解析

運転…運転監視

水質…水質監視

企業名	商品名	施設	マッピ	アセ	水道	財務	需要	管網	運転	水質	その他	備考	お問い合わせ先
愛知時計電機株式会社	上下水道料金調定システム				●								公共SS営業推進部 TEL：052-661-0432 MAIL：kikaku@inet1.aichitokei.co.jp
	公営企業会計システム					●							
	上水道マッピングシステム		●					●					
	統合監視制御システム								●	●			
朝日航洋株式会社	水道台帳管理システム		●										東京空情支社 社会インフラ技術部 施設情報3グループ TEL：049-244-6059 MAIL：yoshiyasu-tokumaru@aerosahi.co.jp

掲載場所：<https://www.j-wpf.jp/application/>

- ✓ 水道事業関係者を対象としたウェビナーを、日本水道新聞社と共催にて9月7日に開催致しました。
- ✓ ウェビナーには、約300団体（うち水道事業者 約150事業者）、約600名（うち水道事業者 約250名）の方々にご参加頂きました。



[HOME](#) > [お知らせ](#) > 第4回水道実務者が水道のこれからを考えるウェビナー参加登録(9月7日開催)

第4回水道実務者が水道のこれからを考えるウェビナー参加登録(9月7日開催)

2021年08月11日

[聴講登録ページ](#) (Googleフォームにリンク)

日本水道新聞社では昨年度から「水道実務者が水道のこれからを考えるウェビナー」を開催し、聴講者の方から好評をいただいております。

当社は、9月7日（火）に第4回のウェビナーを開催することと致しました。

今回は「水道情報活用システムの動向と活用法」をテーマに、他のインフラ分野に先駆けて昨年5月に本格運用を開始した「水道情報活用システム」の現状と導入メリット、実装状況を紹介します。

- ✓ ウェビナーでは、厚生労働省・経済産業省からの講演、先行導入事業者（金沢市・津幡町）からの事例紹介、先行導入事業者と有識者を交えたディスカッション等を行いました。

第5675号

(昭和29年2月9日)
(第三種郵便物認可)

日本水道新聞

毎週月・木曜日発行（週2回）

2021年（令和3年）9月30日

（2）

水道情報活用システムの 動向と活用法

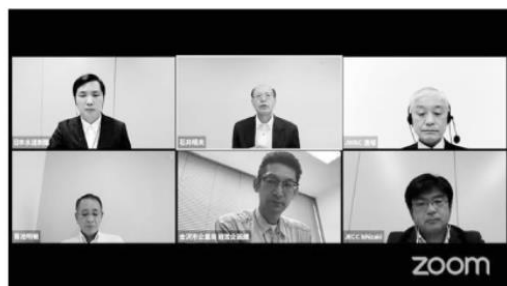
日本水道新聞と水道情報活用システム標準仕様研究会では9月7日にウェビナー「水道情報活用システムの動向と活用法」を開催した。地方公共団体を中心に官民双方からの聴講登録は600件を超え、水道デジタル化への関心の高さをうかがわせた。本紙では、ウェビナーの概要を紹介する。

ウェビナーの概要

ウェビナーの冒頭、水道情報活用システム標準仕様研究会の石井理事長が挨拶を述べ、研究会の活動について説明した。研究会は、水道情報活用システムの動向と活用法について、官民双方から意見を交換し、水道デジタル化への関心の高さをうかがわせた。本紙では、ウェビナーの概要を紹介する。

金沢市の事例から

金沢市の水道事業に採用に当たり、短期的に解決しなければならぬ課題として、水道情報活用システムの導入が挙げられた。金沢市では、水道情報活用システムの導入を進め、水道事業の効率化を図る。金沢市では、水道情報活用システムの導入を進め、水道事業の効率化を図る。金沢市では、水道情報活用システムの導入を進め、水道事業の効率化を図る。



金沢市の水道事業に採用に当たり、短期的に解決しなければならぬ課題として、水道情報活用システムの導入が挙げられた。金沢市では、水道情報活用システムの導入を進め、水道事業の効率化を図る。金沢市では、水道情報活用システムの導入を進め、水道事業の効率化を図る。金沢市では、水道情報活用システムの導入を進め、水道事業の効率化を図る。

金沢市の水道事業に採用に当たり、短期的に解決しなければならぬ課題として、水道情報活用システムの導入が挙げられた。金沢市では、水道情報活用システムの導入を進め、水道事業の効率化を図る。金沢市では、水道情報活用システムの導入を進め、水道事業の効率化を図る。金沢市では、水道情報活用システムの導入を進め、水道事業の効率化を図る。

- ✓ 全国7カ所の会場にて、水道事業者様を対象に、水道情報活用システムの全国説明会・個別相談会を開催し、多くの方々にご参加頂きました。

開催日	会場	参加者数	参加事業者数
2021/12/2	名古屋	36名	26事業者
2021/12/3	大阪	54名	30事業者
2021/12/7	福岡	35名	22事業者
2021/12/8	広島	15名	8事業者
2021/12/14	東京	38名	29事業者
2022/1/12	仙台	20名	12事業者
2022/1/14	札幌	25名	11事業者
合 計		223名	138事業者

※参加事業者数は、同じ事業者でも違う部署が申し込んでいる場合は別カウントとしています。

■ 議事次第（東京会場）

1. 開 会
2. 挨拶
 - （1）厚生労働省 名倉 水道課長
 - （2）経済産業省 渡辺 情報技術利用促進課長
3. 議 事
 - （1）水道標準プラットフォームの推進に向けて（経済産業省）
 - （2）水道情報活用システムの導入状況等（厚生労働省）
 - （3）水道情報活用システム標準仕様研究会について（研究会事務局）
 - （4）水道事業の広域化とダウンサイジング（岩手中部水道企業団 菊池 参与（前局長））
 - （5）水道標準プラットフォームについて（株JECC）
4. 個別相談会

- ✓ ご参加頂きました水道事業者様からは、水道情報活用システムに前向きなご意見を多く頂きました。

■ 全国説明会にて頂きました主なご意見について記載させていただきます。

Q：説明会についてのご感想を教えてください。

- ・ ある程度の概要が理解できた。
- ・ 水道分野の課題からPFの説明まで一連で判りやすかった
- ・ 具体的な導入事例や、デモによる説明もあり、現実的でわかりやすい
- ・ 広域化の必要性・重要性について強く印象に残った
- ・ プラットフォームについての説明時間配分が短い
- ・ 都道府県単位のような小規模開催をしてほしい

Q：今後、どのような情報提供を希望されますか？

- ・ 他の導入事例を紹介して教えてほしい。
- ・ 導入事業者の導入までの具体的な手続きやスケジュール
- ・ アプリケーションについての情報やベンダの意見を聞いてみたい。
- ・ 災害対策やBCP対策の具体的な事例

＜全国説明会の様子（東京会場）＞

【挨拶】



厚生労働省
医薬・生活衛生局
名倉 水道課長

【挨拶】



経済産業省
商務情報政策局
渡辺 情報技術利用
促進課長

【説明】



岩手中部水道企業団
菊池 参与（前局長）

- ✓ 本研究会では、会員を募集しております。本研究会の目的、事業にご賛同いただける水道事業者、企業等であればご入会頂けます。
- ✓ 会員となつていただくことで、WGやSIGなどの様々な活動にご参加頂けますので、是非ご入会をご検討ください。

水道情報活用システム標準仕様研究会 会員概要

会員の種類	(1) 正会員 …水道事業者等、水道事業等に関連するベンダー企業、水道標準プラットフォームの運営事業者 (2) 賛助会員…研究会の趣旨に賛同し、これに協力する水道事業等に関する団体、有識者 (3) 特別会員…本研究会の要請により入会した水道事業に関する団体、有識者
会員の メリット	(1) 標準仕様書（最新版）の閲覧 (2) 標準仕様書改定の次期改定案および検討経緯の閲覧 (3) 標準仕様への改定要求 (4) 部会等への参加 (5) 標準仕様に準拠したサービス・製品の公表 ※非会員は、(1)のみ行えます ※会費は無料です。将来的には頂戴する予定ですが、総会にて会員様の合意のもと決定されます。
問い合わせ先	水道情報活用システム標準仕様研究会 ＜事務局連絡先＞ 〒100-8341 東京都千代田区丸の内3-4-1 株式会社JECC内 TEL : 03-3216-3605 FAX : 03-3216-3860 MAIL : wssp-sc@jecc.com HP : http://www.j-wpf.jp/
会員数	75名（2022年1月時点）

< 水道事業者等 >	
愛知県 企業庁	綾部市 上下水道部
茨城県 企業局	岩手中部水道企業団
大阪市 水道局	大津市 企業局
岡崎市 上下水道局	岡山県広域水道企業団
鹿児島市 水道局	金沢市 企業局
京都市 上下水道局	神戸市 水道局
佐賀東部水道企業団	宝塚市 上下水道局
津軽広域水道企業団	東海市 水道部水道課
豊橋市 上下水道局	長野県 企業局
長浜水道企業団	奈良市 企業局
八戸圏域水道企業団	浜松市 上下水道部
山形市 上下水道部	

< 関連団体 >
公益財団法人水道技術研究センター (JWRC)
公益社団法人日本水道協会 (JWWA)
全国簡易水道協議会

< 有識者 > (敬称略)
新 誠一 (電気通信大学 名誉教授)
石井 晴夫 (東洋大学大学院 経営学研究科 客員教授)
菊池 明敏 (岩手中部水道企業団 参与)
菅又 久直 (一般社団法人サプライチェーン情報基盤研究会 業務執行理事)

< ベンダ >	
愛知時計電機株式会社	朝日航洋株式会社
アジア航測株式会社	アズビル株式会社
株式会社石川コンピュータ・センター	株式会社ウォーターリンクス
株式会社N J S	大崎データテック株式会社
株式会社オーシーシー	オルガノプラントサービス株式会社
株式会社管総研	株式会社ぎょうせい
株式会社K I S	国際航業株式会社
シーデーシー情報システム株式会社	シンク・エンジニアリング株式会社
神鋼環境メンテナンス株式会社	水道マッピングシステム株式会社
株式会社正興電機製作所	第一環境株式会社
株式会社たけびし	株式会社千葉測器
株式会社中央設計技術研究所	東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社
東芝インフラシステムズ株式会社	中日本航空株式会社
株式会社日水コン	日本電気株式会社
日本無線株式会社	株式会社パスコ
株式会社B S Nアイネット	株式会社日立製作所
フジ地中情報株式会社	富士通Japan株式会社
株式会社フューチャーイン	株式会社マイシステム
三菱電機株式会社	株式会社南大阪電子計算センター
株式会社明電舎	株式会社安川電機
株式会社ヤマト	メタウォーター株式会社
横河ソリューションサービス株式会社	株式会社両毛システムズ

< PF運営事業者 >
株式会社JECC

ご清聴、ありがとうございました。

ご質問等は、事務局までご連絡ください。

メールアドレス：wssp-sc@jecc.com